

令和3年度 若年技能者人材育成支援等事業 実施結果（見込みも含む）の概要

令和3年11月末現在

1. 地域における技能振興事業

区 分	事 項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
(1) 技能五輪全国大会予選の実施等	① 技能五輪全国大会の予選の実施企業に対して、参加者の増加など予選大会の活性化が図られるよう気運の醸成を行う。  (ア) 日本料理 選手6名 4月中旬予定 1日  (イ) 造園 選手5名 4月中旬予定 1日	① 技能五輪全国大会の予選の実施  (ア) 日本料理 5月26日(火) 近江懐石清元で実施  (イ) 造園は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 大会の参加選手及び指導員の旅費等の支援を行う。  (ア) 第59回技能五輪全国大会 選手8人 東京都  (イ) 第16回若年者ものづくり競技大会 選手3人 愛媛県	② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施  (ア) 第59回技能五輪全国大会 機械組立て3名 旋盤 1名 フライス盤1名 電工 1名 情報ネットワーク 1名 時計修理 4名 (イ) 第16回若年者ものづくり競技大会 旋盤 2名	(ア) 大企業は除く ・12月17日(金)～ 20日(月) 東京都にて開催 ・選手団名簿 別紙  (イ) 入賞者無 ・八幡工業高校 大神 ・職能短大 松下
(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組	① ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用  (ア) 滋賀オンラインものづくりフェア2021開催 技能尊重気運を高めることを目的に「ものづくりフェア」をリモート開催する。  ・WEB公開予定日 10月1日(金)～31日(日) 1ヶ月間予定 ・「ものづくり体験教室」 ・「ITの魅力」実演講座(動画を公開)	① ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用  (ア) 滋賀オンラインものづくりフェア2021の開催  ・ものづくり体験教室 昨年作成 「ロボットハンド」 「エコバック作り」 「髪飾り」 「ケーキ作り」 新規作成 造園の「関守石の組紐作り」 「建具制作」	(ア) 滋賀オンラインものづくりフェア2021  滋賀オンラインものづくりフェア2021特設サイト内 令和3年10月1日(金)～10月31日(日)  ・体験教室 100名 内訳 建具 80名 造園 20名

区 分	事 項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>熟練技能者の実演 昨年作成 「畳製作」 「フラワー装飾」 「日本料理」 新規作成 「ITの魅力」</li> </ul> <p>※県主催のしごとチャレンジフェスタとの共同開催は取りやめ、今年度もリモートによる縮小した形でそれぞれに実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITの魅力実演 プログラミングで ドローンを飛ばす 実演動画配信</li> </ul>
対象職種 フラワー装飾 日本料理 西洋料理	(イ) ものづくりマイスター等以外の熟練技能者の派遣 (熟年技能者の能力向上講習会) ものづくりマイスター及びITマスターの対象分野に該当しない職種について、熟練技能者等を中小企業及び職業高校他に派遣し、実技指導を行う。  ・3(企業・校)×4人(受講者)×5日=60人	(イ)ものづくりマイスター等以外の熟練技能者の派遣  新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  ・派遣無し	
	(ウ) ものづくりマイスター等以外の熟練技能者の派遣(学校の授業等への熟練技能者の派遣) ものづくりマイスター及びITマスターの対象分野に該当しない職種について、小中学校の授業等へ熟練技能者等を講師として派遣する。 ・小、中学校 日本料理 2校 フラワー装飾15校 (1校あたり25人) 日数1日 375人  ② 技能競技大会展の実施 ブロックごとのイベントに際しては、センター、幹事県を始め、各コーナーと協力して取り組む。 ③ 技能士展の実施 ブロックごとのイベントに際しては、センター、幹事県を始め、各コーナーと協力して取り組む。	(ウ)ものづくりマイスター等以外の熟練技能者の派遣  ・小、中学校の授業への派遣 9校(フラワー装飾のみ) 受講者数 122人  ※日本料理は新型コロナウイルス感染防止対策により中止  ② 新型コロナウイルスの影響により「ものづくりフェア」が中止のため技能競技大会展も中止 ③ 新型コロナウイルスの影響により「ものづくりフェア」が中止のため技能士展も中止	・12校 203人を予定 受講者 21校 合計325人

区 分	事 項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
	<p>④ 技能五輪全国大会を活用した技能の理解促進 該当なし</p> <p>⑤ 「地域発！いいもの」応援事業の実施 センターが定める募集要領に基づき、周知、応募書類の受付等の事務処理を行う。</p> <p>⑥ グッドスキルマーク事業の実施 グッドスキルマーク事業を促進し、周知、応募書類の受付等の事務処理を行う。</p> <p>⑦ 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援</p>	<p>④ 該当なし</p> <p>⑤ 当協会のHPに募集要領等を掲載し、周知に努めるとともに関係先に募集要領を送り、適切な認定申請の手続きを行った。</p> <p>⑥ 当協会のHPに募集要領等を掲載し、周知に努めるとともに関係先に募集要領を送り、適切な認定申請の手続きを行った。 徳永たたみ店申請</p> <p>⑦ 現代の名工 令和2年度受賞者無 令和3年度受賞者 ・苗井満輝 (菓子製造) ・巻本幸光 (建築大工)</p>	

## 2. ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務

区 分	事 項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
(1) ものづくりマイスター等の開拓	<p>① 対象業種の企業等に対して、ものづくりマイスター制度（ITマスター派遣を含む）の周知等を行うとともに、ニーズの多い職種のものづくりマイスター及びITマスターの確保に努め、とりわけ登録されていない職種について重点的に行う。 ・新規大手企業等及び業種団体アプローチ 4月中旬～ ・登録事業所等にマイスター等増員アプローチ 5月中旬～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規大手企業等及び業種団体アプローチ</li> </ul> <p>新型コロナウイルスの影響のため 6月中旬～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録事業所等にマイスター等増員アプローチ</li> </ul> <p>新型コロナウイルスの影響のため 6月中旬～</p>	
(2) ものづくりマイスター等への説明	<p>① 活動を開始するまでに活動条件等の説明を行う。</p> <p>② 指導技法等講習の受講が必要であることの周知を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講習免除者を除く認定者及び過去3年間に活動実績の無いものづくりマイスターに対して周知の連絡を行った。</li> </ul>	
(3) 申請書類等の取りまとめ	<p>① 中央技能振興センターに対して、適切な認定申請を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズの多い職種のものづくりマイスターの確保に努め、とりわけ登録されていない職種を重点的に認定申請に努めた。</li> </ul>	

区分	事項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
(4) ものづくりマイスター等に対する研修等	<p>① ものづくりマイスター及びITマスターに対する指導技法等講習 認定されたものづくりマイスター等の指導技法の習得・向上のために行う。</p> <p>② ものづくりマイスター等職種別指導技法研究会 センターが主催する研究会に参加して指導技法等情報の共有を行う。</p> <p>③ ものづくりマイスター及びITマスターへの指導技法等の講師に対する研修</p> <p>④ ものづくりマイスター等交流会 センターが主催する会議等に参加したマイスター等を発表者とし、業種ごとの意見交換を行う。 開催2回(5月、1月)</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりマイスター及びITマスターに対する指導技法等講習会</li> </ul> <p>第1回 6月29日 3人 (新規 造園1人) (新規 昼 2人)</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりマイスター等職種別指導技法研究会</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11月12日(金) WEBで開催 野邊MS</li> </ul> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりマイスター及びITマスター等交流会</li> </ul> <p>第1回 5月17日(月) 参加者 36人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりマイスター及びITマスターに対する指導技法講習会</li> </ul> <p>第2回 12月20日 2人 (新規 建築大工1人) (新規 婦人子供服1人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりマイスター及びITマスター等交流会</li> </ul> <p>第2回 1月下旬予定</p>

### 3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務

区分	事項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等	<p>① 相談・援助・アンケート</p> <p>(ア) 過去に実施したアンケート調査を基にニーズの把握と個別訪問の継続実施</p> <p>(イ) 技能検定の実技試験や技能競技大会の競技課題等を活用した人材育成に関心のある企業等への相談・援助</p> <p>(ウ) 公共訓練施設・設備等のコーディネート 公共職業訓練校等の教育訓練機関の施設・設備の借用のための連絡調整を行い、設備等十分でない中小企業の労働者への実技指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別訪問の継続を行い、事業所派遣要請に係る指導ニーズを把握し、相談及び効果的な指導を行った。</li> <li>基礎的な指導要請や相談がある場合には、技能検定の実技試験や技能競技大会の競技課題等を活用した人材育成の課題をベースとした訓練指導等を行った。</li> <li>中小企業等の設備等が十分でない場合には、公共職業訓練所及び教育訓練機関の設備を借用して、実技指導を行った。</li> </ul>	

区 分	事 項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
(2) ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施	<p>中小企業及び職業高校等に対して、技能競技大会の競技課題等を基にして、長期・短期間の実技指導を行う。</p> <p>① 中小企業指導 ・15社×(1社あたり2人) ×日数20日=600人日  ・15社×(1社あたり2人) ×日数10日=300人日</p> <p>② 職業高校等の実技指導 ・3校×(1校あたり8人) ×日数10日=240人日 ①+②=1,140人日</p>	<p>① 中小企業指導 ・43社 (新規6社を含む) 1,004人日</p> <p>② 職業高校等の実技指導 ・6校 203人日</p>	<p>① 399人日指導予定 今年度の受講者数計1,403人日予定</p> <p>② 334人日指導予定 今年度の受講者数計537人日予定</p> <p>①+②=1,940人日</p>
(3) 「目指せマイスター」プロジェクト	<p>① 「ものづくりの魅力」の発信</p> <p>(ア) 学校の授業等への講師派遣(児童・生徒) ・小、中学校 (10人×5職種×1日) ×40校=2,000人日</p> <p>(イ) 学校の教師及び保護者等を対象とした講座等への講師派遣 ・教師 (1~3)人×1日×20校 =30人日 ・保護者 (1~3)人×10校 =20人日 計50人日 (ア)+(イ)=2,050人日</p> <p>② 「ITの魅力」の発信 学校の授業等への講師派遣 ・小、中学校 (20人×2職種×1日)×7校 =280人日</p>	<p>① 「ものづくりの魅力」の発信</p> <p>(ア)学校の授業等への講師派遣 ・小、中学校 26校 1,183人日</p> <p>(イ)学校の教師及び保護者を対象とした講座等への派遣 ・教師39校 165人日 ・保護者1校 8人日 合計1,356人日</p> <p>② 「ITの魅力」の発信 ・小、中学校 4校 181人日</p>	<p>① 「ものづくりの魅力」の発信</p> <p>(ア)学校の授業等への講師派遣 ・小、中学校 19校 1,259人日予定</p> <p>合計 45校 2,442人日</p> <p>・教師、保護者受講済 合計 173人日</p> <p>総合計 2,615人日</p> <p>② 「ITの魅力」の発信 ・6校 139人日予定 合計 10校 320人日</p>
	<p>※これまで「マイスターの講義を伴う事業所見学」が実施されていましたが、令和3年度より新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、事業所見学が削除されました。しかし、各学校においては実施希望調査書の提出がすでに終了しており、各学校の行事計画及び依頼先事業所等の事情を考慮し、今年度に限り協会予算において実施する方向で検討いたしました。</p> <p>・ヤンマーミュージアム 9校 222人日 計222人日</p>	<p>・協会予算での事業所見学  ヤンマーミュージアム 8校 192人日</p>	<p>1校 28人日予定 合計 9校 220人日</p>

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

区 分	事 項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
(1) 連携会議の設置	<p>行政関係機関、経営者団体及び労働組合組織等の関係者による連携会議を設置し、本事業の推進計画を樹立し効果的方策の検討や進捗状況の管理を行う。</p> <p>【連携会議の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀労働局職業安定部訓練室</li> <li>・(独)高年齢・障害・求職者雇用支援機構滋賀支部 滋賀職業能力開発促進センター</li> <li>・滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課</li> <li>・滋賀県教育委員会</li> <li>・滋賀県商工会議所連合会</li> <li>・滋賀県商工会連合会</li> <li>・滋賀県中小企業団体中央会</li> <li>・(公財)滋賀県産業プラザ</li> <li>・滋賀県高等学校等教育研究会工業教育研究部会</li> <li>・滋賀県技能士会</li> <li>・日本労働組合総連合会滋賀連合会(連合滋賀)</li> <li>・学識経験者</li> <li>・制度活用事業主(2企業)</li> </ul>	<p>第1回(参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本労働組合総連合会 連合滋賀</li> <li>・滋賀県商工会議所連合会</li> <li>・滋賀県商工会連合会</li> <li>・滋賀県中小企業団体中央会</li> <li>・滋賀県高等学校教育研究会 工業教育研究部会</li> <li>・(株)マツバヤシ</li> <li>・(株)デース</li> <li>・学識経験者</li> <li>・滋賀労働局職業安定部訓練室</li> <li>・(独)高年齢・障害・求職者雇用支援機構滋賀支部 滋賀職業能力開発促進センター</li> <li>・滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課</li> <li>・滋賀県教育委員会</li> <li>・滋賀県技能士会</li> </ul>	<p>第2回(参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本労働組合総連合会 連合滋賀</li> <li>・滋賀県商工会連合会</li> <li>・滋賀県中小企業団体中央会</li> <li>・(株)マツバヤシ</li> <li>・(株)デース</li> <li>・学識経験者</li> <li>・滋賀労働局職業安定部訓練室</li> <li>・(独)高年齢・障害・求職者雇用支援機構滋賀支部 滋賀職業能力開発促進センター</li> <li>・滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課</li> <li>・滋賀県教育委員会</li> <li>・滋賀県技能士会</li> </ul>
(2) 連携会議の開催回数	<p>2回</p> <p>第1回は、5月にマイスター等の派遣や技能振興の取組、事業実施にあたっての連携・協力の在り方の方針決定(推進計画の決定)</p> <p>第2回は、12月に事業実施状況等の報告</p>	<p>○第1回 5月17日(月) 当協会において開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携会議座長の選出</li> <li>・令和3年度の実施計画</li> </ul> <p>等の検討</p>	<p>第2回は、今年度の事業進捗状況報告及び、次年度に向けた改善点等検討</p> <p>○第2回 本日 12月9日(木) 当協会において開催</p>

5. 全国一斉的な事業展開

区 分	事 項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
(1) 全国会議の開催等によるセンター・コーナー間の連携	<p>センターとコーナーが密接に連携し、円滑に全国一斉的な事業展開を図るため、全国会議やブロック会議の開催等により、業務方針確認・徹底、実務ノウハウの向上・共有等を図る。</p>	<p>○全国会議 5月20日(木) リモートによる会議 2名出席</p> <p>○近畿ブロック会議 11月2日(火) リモートによる会議 2名出席</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の事業推進に向けた連絡及び事務手続き等の確認 角、前田出席</li> <li>・事業予算にかかわる各地域技能振興コーナーの事業実施状況等意見交換 角、尾迫出席</li> </ul>

## 6. 目 標

区 分	事 項	実施結果(11月末現在)	見込み(備考)
(1) 成果目標	① ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度 90%以上  ② ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解し、今後に生かせるとした受講者の割合 90%以上  ③ ものづくりマイスターの授業等への講師派遣を利用した学校の満足度 90%以上  ④ ものづくりマイスターを活用した企業又は業界団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合 90%以上  ⑤ 地域における技能振興事業の参加者の満足度90%以上	① ものづくりマイスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度 97.2%  ② ものづくりマイスターの実技指導の内容を理解し、今後に生かせるとした受講者の割合 100%  ③ ものづくりマイスターの授業等への講師派遣を利用した学校の満足度 100%  ④ ものづくりマイスターを活用した企業又は業界団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合 94.1%  ⑤ 地域における技能振興事業の参加者の満足度 97.1%	
(2) 活動目標	① ものづくりマイスター(I T マスターの活動数含む)他の活動数 3,470人日 (I Tも含)	① 合計 2,744人日	① 2,131人日  受講者数総合計 4,875人日

## 7. その他

(1) 地域に対するサービス提供方法	滋賀県職業能力開発協会にコーナーを設置 (〒520-0865 滋賀県大津市南郷5丁目2-14)
--------------------	--